

令和4年度 平島小学校学校経営方針

1 学校教育目標

人間尊重を基盤として、豊かな知性と創造性に富み、自主的、自立精神に充ちた心身ともに健康な児童を育成する。

2 めざす児童像と具体目標

- 進んで学び合う子 ・言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- 思いやりのある子 ・体験的協働的学習による社会性や豊かな人間性の育成
- たくましく生きる子 ・健康・安全な生活に心がけ、最後まで諦めない心の育成

3 経営の方針

- (1) 人権教育を経営基盤として、子どもの思い・願いに寄り添いながら、豊かな心（強くしなやかな心）、確かな学力、健やかな体を育む。
- (2) ていねいな子ども理解を大切にし、子どもの学習意欲を高め、子どもの学びや育ちを中心に据えた教育活動を組織的に展開する。
- (3) 全教職員が対話と信頼を基盤とした協力体制を確立し、自分のもてる力を最大限に発揮し、教育目標の具現化をめざす。
- (4) 保護者・地域との連携を深め、教育目標について共通理解するとともに、地域とともにある学校づくりを推進する。

4 本年度の重点目標と具体策

- (1) ていねいな子ども理解にもとづいた人権教育，特別支援教育，生徒指導を推進する。
 - ・子どもの思いや気持ちに寄り添い，子どもの学びと育ちを支援する姿勢をもつ。
 - ・教職員全員が子どもを見守り，それぞれの立場から情報交換をする。
 - ・自他を大切にし，自尊感情や自己有用を実感できるような教育実践をする。
- (2) 常に「子どものために」「子どもにとって」という視点から教育活動を見直し，子どもにとって意義のある機会や場，学びやすい教育環境を整える。
 - ・子どもの目的意識を大切にし，子どもを中心に据えた教育活動を実践する。
 - ・教室環境等を整備し，子どもが学びやすく，活動しやすい環境を整える。
 - ・学校行事や教育活動の成果と課題を明らかにし，その価値や意義を高めていく。
- (3) 教職員の資質向上を図るため，ICTの活用，子ども理解，授業力の向上についての研修を充実させ，主体的・対話的で深い学びを具現化する。
 - ・授業研究会を通して，個別最適な学びを意識した授業改善や授業力向上を図る。
 - ・日常的にICTを活用し，子どもの主体的なタブレット活用を推進する。
 - ・実践を通して教科担任制の成果と課題を明らかにし，組織的な指導体制を築く。
- (4) 子どもの健康と命を守り，子ども・保護者・地域から信頼される学校づくりをする。
 - ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し，健康・安全に対する意識をさらに高める。
 - ・校内外の子どもの安全について常に点検し，迅速にその改善に対応する。
 - ・HPや通信等を活用し，子どもや様子や教育活動についてわかりやすく伝える。